

平成 30 年 7 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

7 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 4 業種、昨年同等が 10 業種となり、全体の景況感 DI 値も 6 月に比べ好転した。

記録的な猛暑と豪雨の影響を受け、小売業からは季節商品の売上が増加した、また建設業からは災害復旧の出動が増えたとの報告があった。

全体の景況感是好転したものの、山口県の中小企業は、原材料や燃料費等の経営コストの上昇や人手不足に対する改善が進んでいない。

山口県の主要指標 DI 値 (平成 30 年 7 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 30.0% DI 値： ▲25.0% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 16.3% 減少： 42.5% DI 値： ▲26.2% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 8.8% 悪化： 36.3% DI 値： ▲27.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値 (業界の景況) (平成 30 年 7 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲14.3	0.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	0.0	0.0	▲18.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲33.3	▲100	▲18.2	▲30.0	0.0	▲100.0	▲29.8	▲25.0
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	梅雨明けの猛暑により、菓子の消費意欲が減退し、売上が減少した。豪雨災害により建物等の被害がある組合員はいなかったが、ネット販売する組合員は、指定日に届かないためのキャンセルで、50万程度の売上減となった。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	天候と台風により、売上が目標に届かなかった。	パン・菓子製造業 下関市
	23日時点の売上は、対前年同月比▲10%で厳しい状況が続いている。依然として土日祝の売上が伸びず、豪雨も客足の減少に影響している模様。後半はやや回復してきたので、夏季休暇期間は前年並みの売上に期待。	水産食料品製造業 萩市
	塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。7月の豪雨の影響で物資の配送に大きく問題が起こり、想定外の配送料の増加が起こった。早くJRなどの復旧を願う。	水産食料品製造業 下関市
	初旬に山口県東部を記録的な豪雨が襲い、当組合の取引先の酒造会社が被害を受けた。製造中止は1か月程度とのことなので、被害が少なかったことが幸いだった。毎年のように豪雨災害が近県で起こっているため、本格的な対策を検討する必要がある。	精穀・製粉業
繊維工業	7月末から盆休み前の納期に追われバタバタしているが、その後の受注に苦労している企業がある。企業の営業力により、9月以降の受注にかなりの差が出ることを予測されるため、収益状況や資金繰りが心配される。業界で横の連携を取り、受注に向けての新しい体制を構築することが必要。	外衣・シャツ製造業 萩市
	6月中旬に雇用したパートも業務に慣れてきた。従業員の育成を重視して行いたい。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	猛暑でありながら、順調に生産が上がっている。	製材業・木製品製造業 山口市
	猛暑により生産性が低下。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	閑散期のため、受注は停滞気味であるが、特に大きな減少はない。	印刷 下関市
	印刷業界は軒並み停滞しており、機械が動いていないところも少なくない。	印刷 山口市

<p>窯業・土石製品</p>	<p>7月の出荷量は (平成29年7月) 骨材 83%、路盤材103%、再生材134% ↓ (平成30年7月) 骨材126%、路盤材101%、再生材79% 災害復旧工事や緊急を要する工事(学校の運動場陥没等)が中部地区以外で多く発生しているため、碎石の生産が間に合わない。出荷数量は増えている。</p>	<p>碎石製造業</p>
	<p>出荷量は、前月比103%、前年同月比87%。平成30年度は前年度比約87%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>豪雨による作業の遅れに加え、猛暑により現場作業が捗らない状況。納期が間に合わず、数件先延ばしにした。熱中症対策等、体調管理をしながら仕事に臨む必要がある。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>豪雨災害と、梅雨明けから続く熱波の影響か、萩市内の主な観光地(城下町・明倫学舎エリア、松陰神社・東光寺エリア)での観光客が激減しているとの報告がある。この状況が8月も続くようならかなりの痛手となる模様。明治維新150周年を迎え、関連イベントがいろいろ行われているが、萩市民を対象としたものが多く、近県や関東・関西圏からの集客にはつながっていないのではないかと懸念。萩市内の萩焼小売店、ネット販売(商工会議所運営 e萩焼.com)、明倫学舎売店での売上は、対前年同月比で低下。ギフト・卸関係・百貨店の受注は横ばいで、浅草アンテナショップの売上は、昨年同等。</p>	<p>陶磁器・同関連製品製造業</p>
<p>一般機械</p>	<p>前月と同様の推移。人材不足の影響が強く、受注の機会損失を生じている。生産性向上のための一環として、安全管理研修(12時間)を実施した。実務に活かせる研修内容となっており、組合員より今後逐次実行に移すという回答を得た。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調で、残業も多く、職種を問わず外国人技能実習生受入増員相談が多い。介護を始め、新規受入希望相談も増加しており、特に建設業の要望が多い。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。介護の受入については、ハードルが高いため、慎重に対応している。制度の見直しが進んでいるようであるが、人手不足対応でないとの考えであれば、日本語の試験等に安易な対応をすることは好ましくない。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>

輸送機器	鉄道車両、半導体製造装置、産業プラント部門ともに繁忙な状況が継続中。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	いりこの価格が高騰し、買うことができない。また、物の流通が悪く、在庫に影響が出ている。	乾物卸売業
	猛暑と災害の影響で魚が無い。流通に支障が出ている。	生鮮・魚介卸売業
	西日本豪雨土砂災害発生により道路、鉄道等が寸断され、商品の入荷に影響が出ている。	各種商品卸売業
小売業	暑い日が続いているので、日焼け止め、収れん化粧品等の季節商品が良く売れている。台風や豪雨の影響で売上が落ち込んだ時もある。7月、8月はセール期なので、売上増加に期待。	化粧品小売業
	猛暑に続く西日本豪雨災害により、大きな影響があった。岩国市では死傷者が出るなど直接的な被害があり、また死傷者がいない地域でも住居・店舗の浸水や倒壊など甚大な被害が報告されている。復興へ向けた特需は一部に見られるが、大災害の直後は消費が停滞し、物販業ならバーゲン、飲食業なら宴会の需要が集中する時期に客足が鈍り、全業種で売上が低下している。	各種商品小売業 岩国市
	梅雨明けの猛暑の影響で、商店街の人通りが少なく、売上に影響が出ている。イベントを行うので、売上につながることを期待。	各種商品小売業 山口市
	組合員より売上高ダウンの声を耳にする。お客様還元ポイント祭を開催し、多数の客に商店街商品券の交換を行ったので、8月以降、売上につながることを期待。	各種商品小売業 下関市
	猛暑が続く中、核の衣料品店舗が改装に伴うセールを実施し、売上が増加した。それ以外の店舗では、ほぼ前年売上を下回っている状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	連日の猛暑により、飲料品の売上が好調。タブレット塩分補給商品の品切れ状態が続いている。夏物バーゲンが始まり、売上増加に期待。	山口市
	猛暑が続く中、消費者の高齢化の影響もあるのか、来街者が少ない。	宇部市
	猛暑により来街者が少なく、商店街全体としては売上が伸びていない。6月末に開業した飲食店では、昼時は客が多い。	萩市
サービス業	中旬以降は例年通りの仕事量だったが、前半の売上が悪かったため、トータルではマイナスとなっている。	美容業
	猛暑の影響で来店サイクルに変化があり、減収。	理容業

	自動車整備士不足が大きな問題となっている中で、1つの要因として若者が自動車に魅力を感じなくなり、整備士にならなくなっているといわれており、近年、行政側では高校訪問を行い、整備士のPRに努めている。組合では、小学生、中学生の時期から車に関心を持って魅力を感じてもらうことを目的に、本年度から整備体験学習を始めることとなった。車が好きな少年が育ち、将来整備士を目指す人が増えることに期待。	自動車整備業
	低価格商品の反応が良い。	スポーツ・健康教授業
	月初は布団やカーペットなどが大きく動いたが、豪雨や酷暑で需要が激減。業界全体で低調になっている。売上も前年割れの事業所が多くみられ、厳しい状況に変わりはない。汗をかく時期は家で洗えるものを着用することが多くなるため、閑散期に移行。資金繰りなどに困っている。	普通洗濯業
	豪雨災害の影響で、JRの売上は各社とも減少している。秋にかけて増加することに期待。	旅行業
	集中豪雨で交通機関が遮断されたため、多くのキャンセルが発生（約1,500名）。また、7月下旬に開催された音楽イベントが、台風により二日目が中止となった影響で、キャンセルが発生した。このため昨年に比べ、客数、金額ともに約1割減となった。	旅館業 山口市
	売上高、施設利用者（入浴者）の減少が続いている。集中豪雨による県道（下関～俵山）の通行止、公共交通機関の不通による影響が大きい。また、猛暑により外出者が減少していることも影響している。	旅館業 長門市
	7月5日の台風により、キャンセルが多数発生。旅行客に広島、四国方面が多く、その後の予約が伸び悩んでいる。	旅館業 下関市
	豪雨、酷暑の影響が大きく、全体的に売上減の傾向。週末の天気によりかなり左右される。今後、農作物の価格高騰により仕入れが心配である。毎年のことになってきたので、災害のリスクを普段から考えていなければならない。	飲食業
建設業	中電への工事申請168件（当支部分147件）、前年同月303件（同276件）。太陽光発電への申請26件（前年32件）オール電化申請108件（前年115件）。LED街路灯への切り替え・新規申請21件（前年12件）であった。	電気工事業
	専門工事業者の経営規模が縮小すると共に直備技能工数が少なくなっており、大型建築工事において専門工事一職種一社で施工できず、複数の業者が分割受注、又は、一社で受注するが多くの応援を受け	左官業

	て施工するケースが増えている。	
	7月に入り仕事が順調に増えてきている。連日の猛暑により作業に影響が出ないように注意が必要である。	管工事業
	豪雨災害の後、これまで経験したことのないような猛暑が続き、現場の作業環境は最悪の状態である。熱中症予防のため、休憩をこまめにとり、絶えず水分補給に気を配るなどして作業を進めている。例年この時期は一番仕事がしにくい時である。・豪雨の影響による雨漏り修理等の仕事は出ているが、工事の進捗が遅れ、予定が立てにくい状況。	屋根工事業
	7月は、先月に続き好調となり、利益が通常通りに回復した。建設業全般に好調のようだが、専門工事業(下請)で施工人員を持っている業者が特に強いようである。年間通してみると、売上は各月にばらつきはあるが例年並みで、利益率は増益となる模様。	内装工事業
	豪雨災害の復旧作業で多くの業者が出動している。通常業務もあるので、大変疲弊している者もいる。災害時だけでなく平常時でも活躍できる業界にしていく必要がある。	土木工事業 柳井市
	受注高は、対前年同月比90.2%。今年度の累計は、対前年比118.9%。	土木工事業 萩市
運輸業	中国地方(特に広島方面)にもたらした水害により、鉄道・高速・一般道路の不通箇所が多々発生し、輸送状況は混乱した。中・近距離輸送車両も不足がちではあったが、組合員外輸送業者の協力を得て、対前年同月比9.5%のプラスで輸送完了。油関係は、1.8円の値上げ。軽油引取税の引き下げを強く切望する。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注は、広島県の豪雨災害の影響が大きく、対前年同月比ではマイナスに転じる見通し。今後も影響があるようで、自動車関連は特に打撃となっている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	前年同月より売上は増加し、粗利益は出ているが、管理部門の経費が上がってきており、収益状況は良くなかった。暑さで集中力が切れ気味なのもあってか、トラブル対応や対策に追われている様子が見られる。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上は対前年同月比で▲7.1%。原因としては、世間全般の不況と得意先の高齢化、観光タクシーの利用の減少、接待の利用の減少。	一般旅客自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+0.6%（平成30年6月1日～平成30年7月20日分）。6月1日～30日分は+2.4%、7月1日～20日分は▲2.2%で、7月になって減少傾向にある。6月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南+1.9%、下松+10.6%、光+1.0%、防府▲3.6%で、組合員の全域では+2.0%、地区外（員外）+8.9%で合計+2.4%。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月532.5\$/トンが今月565.0\$/トン、前年377.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も（前月440.0\$/トンが今月448.0\$/トン、前年301.0\$/トン）上がった。為替も円安（前月110.74円/\$が111.03円/\$）になり、燃料単価は前月よりさらに+2.7%上がり、対前年同月比+21.0%と高騰している。タクシー乗務員は慢性的に不足し、稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況もある。6月は大きな行事があった事も好調だったが、7月になって、豪雨災害や猛暑で稼働率が低下している模様。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>
	<p>石灰石の取扱高が増加したため、全体の取扱高が対前年比で増加した。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>光市の組合員が新規加入した。やはり人手不足が問題となっており、迅速な解決が必要。外国人技能実習生の入国は早くても年明けの見通しとなっており、もう少し時間がかかる模様。</p>	<p>介護事業</p>